

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり 時事新報には倫敦特電あり 世界の大事を速報す 時事新報社

時事新報

明治三十年七月廿一日 (土曜日)
第百九十七號
西曆一千八百九十七年
八月十三日
五月十三日

今般 駿河國清水港 本町三百五十九番地へ發行 出張店ヲ設置シ來八月一日ヨリ銀行一般ノ業務取扱開此段廣告候也
七月三十日 株式會社 東遠銀行

株式會社 第三銀行
日本橋區小舟町三丁目
電話(浪花)四五一番

定期預金 (三ヶ月 年五分五分) (六ヶ月 年六分五分) (一ケ年 年六分五分) 年四分以上
當座預金 但御取引ノ模様ニヨリ精々相働キ御相談可仕且利息ハ御預ケ入レ當日ヨリ相付可申候
別口當座預金 百圓ニ付日歩壹錢五厘五毛
送金無手数料 此御預ケ金ハ通帳ニテ御取引致シ御預ケ入レハ五圓以上ナレバ御引出ハ何程少キ高ニテモ御隨意ニ受取リ得ル至極御便利ノ預ケ金ニ有之候尤モ小切手御使用ニテ御取引ノ分ハ利子從前ノ通
御取引ノ金ハ通帳ニテ御取引致シ御預ケ入レハ五圓以上ナレバ御引出ハ何程少キ高ニテモ御隨意ニ受取リ得ル至極御便利ノ預ケ金ニ有之候尤モ小切手御使用ニテ御取引ノ分ハ利子從前ノ通

謹告
小生儀今回病氣療養ノ爲メ本月廿九日ヨリ向フ五ヶ月間休業ノ上商業ニ關スル諸般ノ御取引中止仕候間總テ關係無之ニ付此段謹告仕候
追テ全愈ノ上營業ニ從事致シ候節ハ又々御報告可仕候間其節ハ不相替倍
御愛顧奉願候
横濱市真砂町一丁目七番地
忽那商店 電話三百貳十壹番
忽那惟次郎
三十年七月廿九日

時事新報第一紙面廣告料一行
一紙面一週(五日)二十五錢
一紙面一月(三十日)七百五十錢
一紙面三月(九十日)二千二百五十錢
一紙面半年(一百八十日)四千二百五十錢
一紙面一年(三百六十日)八千二百五十錢
以上各紙面廣告料ハ第一紙面ニ於テハ他紙面ノ比シテ倍價ナリ
一紙面一週(五日)二十五錢
一紙面一月(三十日)七百五十錢
一紙面三月(九十日)二千二百五十錢
一紙面半年(一百八十日)四千二百五十錢
一紙面一年(三百六十日)八千二百五十錢
以上各紙面廣告料ハ第一紙面ニ於テハ他紙面ノ比シテ倍價ナリ

社説 活潑なる樂と樂む可し

人間は衣食住のみを以て満足するも能はず一旦生計に餘裕を生ずれば其餘裕を以て直に娛樂を買はんと欲するものなり娛樂の種類は一にして足らず歌舞音曲あり書畫骨董あり射的、遊獵等ありて各々好む所を異にすど雖も國民の氣風をして勇壯ならしめんには樂も成る可く戶外活潑のものを選びざる可らず一望の内に閉籠りて挿花、茶の湯を樂み或は書畫骨董など拵りて得々たる人民の間には進み雄大な氣象を見る可らざるなり西洋の紳士は或はヨットを走せて洋中の清風に浴び或は山野を跋渉して野獸を獵し然らざるも乘馬、蹺蹺、外國遊藝等その樂は概ね快活ならざるなきに反して日本人の樂は多くは室内優柔のものなり挿花、茶の湯、發裁、碁將棋等一種種小なる樂のみに我國に於て發達したるは正に國民の氣風如何を示す者にして蓋し徳川三百年の太平に鑽國の夢、醒にして活動の刺激を得ず自から優柔に流れて男子の遊戯も遂に小供のママ、ゴト流に化じたるものならん鎖國の時代には斯の如くにても敢て不都合を感ずるとなかりしかども今や夢醒めて四邊を見れば喧嘩粉塵恰も戰場の如し油斷をすれば將に踏倒され蹴飛ばされんとする程の有様なれば有爲の壯年が樂隱居を氣取て骨董など弄ぶ可き時に非ず歴史研究等の材料として學者が古物を探るは亦文明進歩の一助にして固より咎む可きに非ずと雖も活世界の活動の間に任じて恰も千軍萬馬の赴に馳驅する者は一擧一動の間にも心身を養ふて後れを取らざるの覺悟を肝要なれ遊藝娛樂も自から快活なるものを選びざる可らず例へば遊藝を避くるにも單に箱根、日光等に隈らず或は北海邊千鶴の海濱に清遊し若しくは一步を進めて西伯利の曠原を探検するが如き興味頗る多かる可し或は深山幽谷を跋渉して奇麗異木を採集し或はボートを浮べヨットを馳せて清風を樂むも亦妙なり其他騎馬旅行、遠足、射的等兎にも角にも戶外活潑の遊戯を專とせば身心共に健全と爲りて始めて繁劇なる文明の實務に當るに足る可し然るに近來富豪紳士輩の様子を見るに矢張り舊套を脱する能はず隱居流に非ざれば婦女子的か然らずんば淫靡不潔時待合料理店に出入して例の酒色弄花に健康を害する者あり或は養生の爲めと稱して義大夫齋曲を叫ぶ者あれば古器古書畫の鑑定など得意の顔色して遊具屋に交はる者あり其鄙俗文藝なる之を一見しても唯嘔吐を催はすに足る可きのみ漫然看過し去れば一夜の運具に千金を散ずるも一枚の反古に萬金を投ずるも固より其人々の勝手にして他人の關せざる所なれ共海狗の癖合は成して文明實業の先鋒たる可き富豪の士が舊套の遺習を爲り古物をばりて

北京特報 七月十六日

外債問題の落着近きべあらん
二箇月間の長きに涉りて李中堂が苦心焦慮せる外債問題も兎角故隙多く彼のドクトルダツツヨンの手が全失敗に歸したる後モルガン氏等の運動頗る盛なる様子なりしに今や愈々香港上海銀行の手に落ちんとする模様あり蓋し香港上海銀行は支那に於ける信用最も厚き外人の銀行にしてロスマン等が代表を代表して此外債に應ぜんとの見込みなり云へば露國にして應募の企望なき限りは目下の露國は同銀行の獨占物と云ふも差支なからん目下李中堂と商議せるは北京支店長ヒリヤード氏なるが同氏は戰争中朝鮮京城に露國領事たりしヒリヤード氏の實弟にして久しく露地に滞在せる人なり今其商議に付き聞き得たる所を報告せんに其相場を八十五、五、利息を四分五厘とし償還は千六百萬磅と定め抵當は一半を海關稅より一半を内地稅よりする云ふにあり内地稅とは其だ漠然たる事なれども右に關しては未だ全く商議を遂げざるものあるが如し又香港上海銀行にては昨年より早速元利共返却を始めんとを求め居る由なれども其點は露國も聊か難澁に感ずる所ならんダツツヨンの豫備條約には相場九十四、五、利息五分とありしに今は相場八十五、五、利息四分、五となり目前の受取には其だ價高きもの如くなれども若し之を五十一年限皆済と假定して勘定したらんに利息の四分五厘と五分の差より出づる金額は露に目前受取額の小數なるを補ふて尙は六百萬兩の利益ある譯なりと云ふ左れば此回の商議せる條約はダツツヨンの豫備條約より尙は一層露國に便利なれども獨り八十五、五の相場に至ては實に高價にして露國の體面より言ふも此上なき不信用を發表するものと評するの外なし兎に角香港上海銀行にして愈々右の相場にて引受け之を倫敦市場に募集せんには其間の利益は實に巨多なるものあるべし白耳義と鐵道債は尙は二週間の期日を殘せるも殆ん迄批准交換の望なき由を報じ置きたりしが今或る筋より聞き過みたる所に依れば白耳義より附加の條項改正を申出で目下頻りに商議中なりと右に付き或る人は露國政府も白國の申込みに應ずるものと爲るるを云へば露國鐵道資本は既に久しき事にして英米人とも何れも相譲取れて僅に白耳義の一面を除く今日なれば露國も心中不安なる能はずして多少の不満を忍びても斷然決定するを得るべく露に清國政府の常手段として露國資本は兎も或るものなれば白人決断を現はすに於て

○日白
日本白耳義兩國間開議
十二日白耳義國ノ
意々御批准を得カ
り該條約の條項ハ
職務條約ト大體に
觀セサ
○チブ
北米合衆國チブ
ヒ一萬國大博覽會
れた旨昨日其條
○題福翁百話
先づ福澤先生の
し左の一首を卷末
一面真相一面
君休笑、亦是
○獨逸内閣交
る由は先般亦兩三
に據るに露に伊太
使ビロー男は